

府中市自然環境調査 野鳥 2025年度6月 観察場所:武蔵台公園 観察時間:9時30分~11時00分

観察担当者

宮島、多田、鶴岡

番号	科	天気 名称	25年度観察数												観察 月 数	観 察 数 合 計
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
			観察月	観察日	9	14	17									
1	カモ	カルガモ													0	0
2	ハト	キジハト		4	4										2	8
3	ウ	カワウ													0	0
4	サギ	アオサギ													0	0
5	サギ	ダイサギ	○												0	0
6	カッコウ	ツツドリ	・												0	0
7	トビ	トビ	○												0	0
8	タカ	ツミ	VU												0	0
9	タカ	ハイタカ	VU												0	0
10	タカ	オオタカ	VU												0	0
11	タカ	ノスリ	VU												0	0
12	キツツキ	コケラ	2	2											2	4
13	キツツキ	アカケラ	○												0	0
14	キツツキ	アオケラ	○	1	1										2	2
15	ハヤブサ	チヨウケンボウ	VU												0	0
16	ハヤブサ	ハヤブサ	VU												0	0
17	モズ	モズ	VU												0	0
18	カラス	カケス													0	0
19	カラス	オナガ	NT		3										1	3
20	カラス	ハシボソガラス	4	5	7										3	16
21	カラス	ハシブトガラス	4	10	4										3	18
22	シジュウカラ	ヤマガラ	○		1										1	1
23	シジュウカラ	シジュウカラ	10	12	12										3	34
24	ツバメ	ツバメ		3											1	3
25	ツバメ	イワツバメ	NT												0	0
26	ヒドリ	ヒドリ	15	12	17										3	44
27	ウグイス	ウグイス	○	7	5	3									3	15
28	エナガ	エナガ		10	2										2	12
29	メジロ	メジロ	4		4										2	8
30	ムクドリ	ムクドリ	12	15											2	27
31	ヒタキ	シロハラ													0	0
32	ヒタキ	ツガミ													0	0
33	ヒタキ	ルリビタキ													0	0
34	ヒタキ	ジョウビタキ													0	0
35	ヒタキ	エゾビタキ													0	0
36	ヒタキ	コサビタキ	VU												0	0
37	ヒタキ	キビタキ													0	0
38	スズメ	スズメ													0	0
39	セキレイ	キセキレイ													0	0
40	セキレイ	ハクセキレイ													0	0
41	アトリ	アトリ													0	0
42	アトリ	カワラヒワ													0	0
43	アトリ	シメ													0	0
44	アトリ	イカル	NT												0	0
45	ホオジロ	ホオジロ	NT												0	0
46	ホオジロ	アオジ	1												1	1
															0	0
															0	0
															0	0
観察種数 月 / 年			10	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	

注1:表の最下段は月ごとの観察種数と年間の観察種数。

月	25年度コメント
4	木々は新緑の葉を繁らせ始め、鳥の観察がしにくい季節になってきた。サクラの花の蜜を吸うヒヨドリが見られた。ウグイスの囁りがあちこちで聞こえた。アオゲラのドラミング、鳴声が聞こえたが、姿を確認することはできなかった。コゲラの巣から、コゲラが出てきたのを観察した。来月には、ヒナに餌を運ぶ姿が見られなかなと思った。ハシボソガラスも巣材を運ぶ姿が見られた。子育ての季節のようです。
5	ガビチョウの声が響き渡り、占領されたかと心配したが少し離れるとウグイスが良くさえずり、谷渡りと呼ばれる鳴き方をすることもあった。ムクドリの中に薄茶色の幼鳥が混じっていた。エナガが10羽ほど若葉の中を連れ立って飛び回っていた。今年生まれた幼鳥が混じっていたようだ。コゲラは既に巣立ったのか姿は見当たらなかった。シジュウカラの雄が青虫を咥えてきたと思ったら、枝にたたきつけていた。弱らせてから咥
6	梅雨の中休みで猛暑の中、樹々の葉も下草も青々と生い茂ってきた。ウグイスの囁りが涼し気に聞こえ、シジュウカラやメジロは高い梢を鳴きながら行き来していた。高い樹々の木陰となる低木ではコゲラなどが見られた。また、赤い口が特徴のハシボソガラスの幼鳥の他、飛び方が未だ幼いヒヨドリの親子連れと思われる一団も見られ、巣立ちが着実に進んでいる様子が見られた。
7	
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

## 外来種

注2:名称欄記号は、2023年度東京都レッドデータ、北多摩のカテゴリー表示。

観察月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
カラハト	16											
ガビチョウ	3	4	3									
ソウシチョウ												
ホンセイインコ												

### レッドリスト表示について

名称欄に東京都レッドリストのカテゴリー表示を行った。カテゴリー表示の条件を以下に示す。

2023年版 東京都レッドリスト

対象地域 北多摩の評価による

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅危惧 IA類	CR	ごく近い将来における野生で絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧 IB類	EN	IA類ほどではないが、ごく近い将来における野生で絶滅の危険性の高いもの
絶滅危惧 II類	VU	現在の状況をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」としての上位ランクに移行する要素を有するもの
ランク外	○	前回2010年版に掲載されていて今回の改定によりレッドリストから外れた種
非分布	・	主要な生息地でないという理由から対象外とされた種